

教育研究データ

1. 氏名	岡 利 道		
2. 生年月日	1957年9月19日		
3. 取得学位	修士（教育学）		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2016年4月	① ICT機器（iPad）やデジタル教科書を活用した授業方法の工夫・改善をし、Glexaシステムを活用もして、授業外における自律学修の促進を図っている。	
	2016年10月	② ルーブリック評価を取り入れ、学修の見通し・ゴールを明確に持たせるようにしている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2014年3月	① 学内研修会で、「本学独自の教育活動の展開—プログラム「育心」が目指すもの—」と題して発表。	
	2017年8月	② 広島文教女子大学高等教育研究センターより前年度の学生による授業評価の上位者に選出され、7月に平成29年度前期授業評価に基づく授業公開（国語科教育法）を行い、8月にその成果を基に同センター主催「FD・SD研修会」の分科会講師を務めた。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所
① 自覚的な表現者を育てる—小学校国語科の授業—	共著	2002年7月	溪水社
② 初等教育学入門	共編著	2010年3月	広島文教女子大学
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載誌および巻/号、頁
① 読むよろこびを育む読書指導	共著	2019年2月	文教国文学, 第63号, 1-13
② 追試をするということの価値 (I)—国語科「うとてとこ」(詩)の授業に即して—	単著	2020年2月	文教国文学, 第64号, 1-12
③ 追試をするということの価値	単著	2021年2月	文教国文学, 第65号, 1-9

(Ⅱ)―国語科「うとてとこ」(詩)の授業に即して―			
④ 追試をするということの価値 (Ⅲ)―国語科「うとてとこ」(詩)の授業に即して―	単著	2022年2月	文教国文学, 第66号, 1-7
⑤ 評論文読解用「学習の手引き」についての共同研究	共著	2022年3月	広島文教教育, 第36巻, 73-85
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
① 国語科教育の必要性と意義に関する研究―伝統的な言語文化の事例をもとに―	2016年10月		広島文教女子大学国文学会平成28年度研究集会
② 大学生に国語科模擬授業で追試をさせることの是非について―野口芳宏氏の実践「うとてとこ」(詩)の場合―	2019年10月		広島文教女子大学国文学会令和元年度研究集会
(4) 所属学会			
① 全国大学国語教育学会			
② 表現学会			
③ 国語教育史学会			
④ 広島文教大学教育学会			
⑤ 広島文教国文学会			